

センターだより

NO. 2

平成24(2012)年5月29日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1

TEL 06-6388-1455

FAX 06-6337-5412

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

子ども達の笑顔のために



～教育相談の活用について～



新年度が始まって2ヶ月が経ちます。新しい学年にあがって、はりきっていた子ども達の中にもひよっとしたら息切れを感じ始めている子がいるかもしれません。そんな子ども達や保護者の不安や心配に応え、進む方向を一緒に考えていくのが教育相談です。

主訴によって適切な相談を有効に活用してください。

【今年度の新しい取組】

- ① 従来から平日・第3日曜日の9時～17時に実施していた教育相談における来所相談ですが、今年度から**木曜日の相談時間帯を9時～21時に拡大**しました。これにより昼間には来所しにくい方の相談に応じていきます。
- ② 小学校における出張教育相談の**年間30回実施校を、2校増やして5校**としました。これにより高い相談ニーズに応じていきます。
- ③ **適応指導教室における体験・見学から入会までの流れをスムーズ**にしました。適応指導教室への入室にあたっては担当者の学校訪問をこまめに行い、学校との連携を密にします。

【学校ではこんなこともできます】

相談は来談者との個別面接が基本になりますが、それ以外にもできることがあります。

- ・ 相談室開放…相談室を開放することができます。開かれた雰囲気の中で聞いて欲しい話が子どもから出せることもあります。(開放するかどうかの判断は学校の実情によります。)
- ・ 児童・教職員・保護者に対する研修…ストレスマネジメント、アンガーマネジメントのような心理・情緒面からの研修を児童・教職員・保護者を対象に実施することができます。
- ・ 教職員に対するコンサルテーション…情緒・心理面、また発達面からのアドバイスを教職員に対して行うことができます。
- ・ ケース会議への参加…子ども支援のために学校で開くケース会議に参加し、助言することができます。ただし、勤務曜日や勤務時間帯から外れる場合は、相談員または教育センターにご相談ください。



【Q&A】

〔Q〕教育相談で発達検査はとれますか？

〔A〕検査のみをとるとことはしていません。相談の中で子ども理解をする材料の1つとしてとることはしています。

〔Q〕発達検査の内容は学校に教えてもらえますか？

〔A〕保護者の希望があれば相談員と巡回コーディネータが学校に伺い、検査結果と学校での対応の仕方等を伝えることができます。訪問者の日程調整が難しいので、学校のご理解・ご協力をお願いします。

〔Q〕相談員やSCが授業を見ることはできますか？

〔A〕管理職・授業者の了解のもとに授業を参観することはできますが、専門職といえども児童生徒の様子から原因や対応を示すことには慎重を期す必要があります。専門職の見立てに加えて、校内支援委員会等でたくさんの材料を元に多方面からの見立てをおこなうことが大事です。



詳しくは下記の配付物を参考にするか、教育センターまでお問い合わせください。

- ・ 教育相談ちらし(全校配付)
- ・ 適応指導教室ガイドブック(各校2部配付)
- ・ 「活用してください 教育相談」(A3表裏プリント 教育相談担当者に配付)

平成23年度(2011年度)研究報告書(紀要106号)

[幼稚園1冊・小学校3冊・中学校2冊配付予定]

昨年度の教育センター研究員による研究報告書(紀要106号)がまとまりました。5月末までに各学校に順次配付します。昨年度は5つの研究グループが研究活動を行いました。

昨年度の研究報告書から、是非活用してほしい内容について紹介します。

I. 情報教育・ICT活用研究グループ「やってみよう！ ICTを活用した授業」

昨年度は、情報モラルについての提案授業に取り組みました。特に、道徳や特別活動等の領域で特別に時間を設定して行う情報モラル授業ではなく、社会科の授業の中で必要な場面に応じて、子どもに情報モラルを意識させる授業展開を考えました。情報モラルを教科の授業の中に位置づけて指導していくことについては提案性のある授業実践になったと考えます。各校にて情報モラル授業の参考にして、活用ください。

II. 発達理解研究グループ「わり算につまずいている子どもをどのように支援するか」

発達理解研究グループでは、まず、4年生におけるわり算の計算問題のパターンを分析し、そのパターンを踏まえて、整数・小数のわり算問題を作成し、市内4・5年生対象に実施しました。次に、実施したテストの誤りを分析し、誤り傾向に応じた支援方法を検討し、4年生の学習内容(わり算)でつまずいている児童を対象にした練習問題集「ちょこプリ」を作成しました。各校にて活用していただきたいと思っております。

III. 小学校英語研究グループ「担任が行う小学校英語活動授業研究」

小学校英語研究グループでは、教材作成と提案授業について研究しました。

まず、教材作成では、昨年度作成したパワーポイントを使ったフラッシュカードの作り方を応用して導入部分で使えるクイズを作成したり、子どもたちの絵を取り込んでオリジナルのデジタル紙芝居を制作したりして、授業に活用しました。

授業研究では、他の学年に対して行うクイズ大会の授業や、6年生が卒業を前に学年の仲間へ夢を語る授業など、子どもたちに目的を持たせることで意欲的に取り組むことができる授業を提案しました。実践例や指導案をもとに、ぜひ取り組んでみてください。

IV. 理科教育研究グループ「理科はやっぱり観察・実験！」

理科教育では、授業で子どもたちの理解を深めるだけではなく、興味や関心、意欲を高める授業づくりや実験・観察を行うために専門的な知識や技量が必要です。本研究グループでは、授業で苦勞されている先生への支援策を検討し、今年度は理科の実験・観察等の授業における実態や課題等を把握したうえで、先生方のニーズに対応した教員研修等の支援や教材の開発、模範となる学習指導案の作成等、理科教育の充実に向けて、さまざまな提案をしました。「理科実験・観察」研修資料も紹介していますので、各校にて活用ください。

V. 子ども支援グループ「子ども支援のあり方を考える」

子ども支援グループでは、学校を取り巻くさまざまな課題を解決のための外部支援にはどんなものがあり、それらの活用法や効果的に活用するためにはどんな校内体制を構築していったらよいかを研究しました。今年度は「不登校」と「虐待」にテーマを絞りました。不登校はその原因も背景もさまざま、どの学校においても大きな課題のひとつです。虐待は、近年増加の一途をたどり、外部連携なくしては解決できない課題で、対応の仕組みを理解した適切な連携が早期解決につながります。本研究グループではできるだけ当該部署に出向いたり、担当者を招いたりして直接話を聴き、研究を進めました。

平成24年度研究委嘱校決定！

今年度より、研究委嘱学校事業が指導課より教育センターに移管されました。平成24年度の研究委嘱学校では、昨年度からの研究委嘱校である吹田南小学校と岸部第一小学校の他、児童生徒の学力向上を図る言語活動を意識した授業づくりや、道徳の時間の授業づくりを軸とした研究を行う学校について、ヒアリングを実施し委嘱学校を決定しました。決定した研究委嘱校と研究主題は以下のとおりです。

学校名	研究主題
吹田南小学校	思考力・表現力を高める確かな読解力の育成 ～国語科「読む」領域(説明文)を中心として～
岸部第一小学校	多様性教育を軸とした人権教育の推進
西山田小学校	豊かな心と未来を拓く生きる力の育成 ～自ら学び、よく考え、伝え合う力を育てる～
千里新田小学校	自信を持って自分の考えを表現できる力を育てる～ 算数科・課題解決型学習を通して～
片山小学校	コミュニケーション力を育む国語科の授業づくり ～仲間とともに学び合う子どもの育成～
山田中学校	道徳的な価値観を培う指導のあり方について ～魅力ある道徳の授業づくりを通して～
古江台中学校	言語力育成に向けた授業づくり

各校の研究成果は、公開授業や研究発表会等で広く吹田市内に発信する予定です。センターだよりでは、可能な限り公開授業や公開研修等の予定も掲載していきますので、他の学校の教員も積極的に参加してください。よろしくお願いたします。

【6月の公開授業】

学校名	日時	内容	
吹田南小学校	6月8日(金) 14:25～17:00	公開授業 研究協議	授業 6年 国語 授業者 教諭 奥田 智子 単元名「自分の考えを明確にしながら読もう」 教材名「イースター島にはなぜ森林がないのか」 指導助言 大阪教育大学 住田 勝 准教授

公開授業 小学校(中学校)英語活動研修「授業研修1」6/14【講座番号92】

移行期間を終え、昨年度から小学校での英語活動が始まりました。小学校での英語活動を経験した子ども達は中学校に入学しどのような感覚で中学校英語を身につけているのでしょうか。

接続期である中学一年生の英語授業から研修します。(右記参照)

6 ・ 7 月 の 教 職 員 研 修 予 定

講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等	会場	日時	対象
ライフステージにあった研修	初任者研修 フレッシュ研修 (新規任用講師)	27 「水泳実技研修」(小学校) 小学校教育研究会体育部教員等	片山市民プール	6月5日(火) 15:00~17:00	小学校 初任者教員 新規任用講師
	初任者研修 フレッシュ研修 (新規任用講師)	29 「授業研究1」(中学校) 「公開授業・研究協議」 授業者 山田中学校 指導教諭 神崎 由紀	山田中学校	6月26日(火) 13:30~17:00	中学校 初任者教員 新規任用講師
	ステップアップ 研修 I	44 授業研究 I (小学校) 先輩教諭の授業に学ぶ 「小学校国語科の公開授業」 授業者 千里たけみ小学校 指導教諭 木村 孝子	千里みらい夢学園 千里たけみ小学校	6月8日(金) 14:30~17:00	教職2年目教員
		46 授業研究 I (中学校) 指導教諭の授業に学ぶ 「中学校音楽の公開授業」 授業者 高野台中学校 指導教諭 榊 貴恵	高野台中学校	6月6日(水) 14:30~17:00	教職2年目教員
	ステップアップ 研修 II (選択研修)	57 選択研修 肢体不自由学級センター校に学ぶ 「やまばと学級の公開授業と協議」 授業者 教諭 磯崎 淳子 教諭 佐藤 英一郎	高野台小学校	6月12日(火) 13:45~	教職3~5年目教員
		58 選択研修 難聴学級センター校に学ぶ 「難聴学級の公開授業と協議」 授業者 教諭 友松 美也子 教諭 妹尾 典子	吹田第二小学校	7月3日(火) 14:35~	教職3~5年目教員
	ヤングリーダー 研修2	24 「授業づくりを通じた学力向上について」 大阪府教育センター 総括主任指導主事 野田 健司	教育センター 研修室	7月2日(月) 15:30~17:00	ステップアップ研修 終了~9年目程度
	ヤングリーダー 研修3	21 「学校づくりに役立つ教育法規」 吹田市教育委員会教職員課 主幹 浦田 太	教育センター 視聴覚室	7月27日(金) 10:00~11:30	ステップアップ研修 終了~9年目程度
スクールリーダー 研修	62 「学校をみる力」 吹田市立教育センター 参事 羽間 功	教育センター 視聴覚室	6月8日(金) 16:00~ ※指導連絡会後	首席	
	64 「指導教諭の役割」 — 研修リーダーとしての資質を高める — 吹田市立教育センター 参事 西田 智子	教育センター 視聴覚室	6月5日(火) 15:40~17:00	指導教諭	
教科・領域 研修	小学校(中学校) 英語活動研修	92 「授業研修」 — 小学校外国語活動を生かした中1の授業 — 授業者 豊津中学校 教諭 藤田 幸	豊津中学校	6月14日(木) 14:30~17:00	教職員
	授業づくり研修 スーパーティー チャーに学ぶ①	101 スーパーティーチャーに学ぶ①—算数の公開授業と講義— 「思考力・表現力を育む授業づくり」 講師 筑波大学付属小学校 教諭 田中 博史 先生	千里みらい夢学園 桃山台小学校	6月11日(月) 14:00~17:00	教職員
特別支援 教育研修	事例研修[学習]	227 事例提供:市内小学校教員 指導助言:大阪医科大学LDセンター 西岡 有香先生	教育センター 視聴覚室	6月13日(水) 15:45~17:00	教職員
	特別支援教育 コーディネータ [ベーシック]研修	214 発達障がい理解と実践② 巡回コーディネータ	教育センター 視聴覚室 第2会議室	6月26日(火) 15:45~17:00	特支Co. 教職員 ベーシック登録者は申し 込み不要 他は研修申し 込みシステムで申し込み
	特別支援教育 コーディネータ [アドバンス]研修	215 ユニバーサルデザインについて 巡回コーディネータ	教育センター 視聴覚室	7月31日(火) 14:00~16:00	特支Co. 教職員 アドバンス登録者は申し 込み不要 他は研修申し 込みシステムで申し込み
情報 研修 教育	課題・専門研修	345 情報モラル・セキュリティ研修講座 「情報セキュリティ」 講師 (株)トレンドマイクロ インストラクター	教育センター 視聴覚室	6月25日(月) 15:45~17:00	教職員 ※情報教育推進委員 会を兼ねる。

初任者研修始まりました！

平成24年度、吹田市には小学校55名、中学校36名、計91名の初任者を迎えました。

5月16日(水)小学校の「授業研究1」は体育科の公開授業と副読本を活用した実技研修でした。低・中・高学年の担当に分かれての研修。熱心に授業を見入る先生の姿、子どものように一生懸命跳び箱を跳ぶ姿が印象的でした。

6月26日(火)には中学校の「授業研究1」をします。中学三年生の英語科の公開授業と授業交流となります。先輩教員から様々なことを学んでください。

6月の「さつきらるーむ」
6月5日(火)と6月7日(木)

相談にのります。
気軽にどうぞ。

【お詫びと訂正】

すでに各学校・園に配付しました『所報 第82号』の2ページ「教育センター 概要」において、誤りがありました。

①平成23年度の運営委員

誤) 林 陽子(古江台小学校) → 正) 林 陽子(古江台幼稚園)

②平成23年度教育センター研究員 小学校英語研究グループ

誤) 大久 保千穂(吹田南小学校) → 正) 大久保 千穂(吹田南小学校)

以上、お詫びとともに訂正いたします。